

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672100189
法人名	株式会社 一幸
事業所名	グループホームみどりの郷
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町上別府4627 (電話) 0993-28-2250
自己評価作成日	平成30年1月31日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年2月28日(水)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は、利用者様が住み慣れた環境で、グループホームでの生活に生きがいを感じ、気ままに生活して頂けるよう環境作りに努めている。施設内に畑があり一緒に野菜作り、成長や収穫する楽しみを利用者様、職員と一緒に感じている。また、収穫した野菜などを、食事にも使用したり、おやつなどに出したり、収穫の喜びを感じている。年末年始は、神社などにも初詣など行くが、施設内にみどり神社を作成し、全ての方が初詣が出来るよう、職員皆で案を出し、作成など行っており制作活動にも力を入れている。

隣接する小規模多機能型居宅介護支援事業所や他事業所(サービス付き高齢者住宅)の利用者様や職員も交流を密に図り、利用者様や職員の交流の場を作っている。

当施設を運営する法人で年に2回、地域交流、地域活性化、利用者様やご家族の交流の場として、こおり DE マーケットを開催している。開催ごとに規模も大きくなり、利用者様も買い物を楽しんだり、出し物を見学したり楽しみのイベントとなりつつある。当事業所のある地域でも、新たなイベントを開催に向け、計画中である。地域との交流で、自治会の祭りに参加したり、保育園の運動会に参加、また自治会の公園清掃なども、利用者様と参加し、地域の中での役割を持つよう活動を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 南九州市穎娃町の緑豊かな自然の中に位置するホームである。近隣には、郵便局やガソリンスタンド、スーパー、小・中学校がある。
- 隣接した小規模多機能施設とは、運営推進会議、避難訓練や施設行事を通じて日常的に交流がある。母体法人は、年2回、「こおりDeマーケット」を開催し隣接した市町村の方との交流活動や地域活動の促進に尽力している。また、毎年地域の行事になっており盛大に開催され、当ホームの利用者も希望があれば家族に協力をいただきながら、職員が同行するなどして外出している。
- 自治会に加入し、清掃活動や地域の行事へ参加したり、介護基礎勉強会に誘うなどして介護の知識や技術、福祉用具の紹介、調理実習などをテーマに家族、地域の方々の参加を促し積極的に交流活動をしている。
- 職員は、理念の「心」で聴く姿勢を大切にしており、経営理念である、「共育」「共生」「共創」を基本に自分らしい暮らしの実現や事業所自体が地域と繋がり、地域貢献することを目指している。また、運営推進会議では、ホームの実情や課題などを報告し地域や関係者間で話し合い、出された意見はサービスの質の向上に繋げていくよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の経営理念のもと、事業所理念を作成し、実践できるよう努めている。	経営理念は、朝礼で唱和されホームの理念も毎週金曜日に唱和し職員に浸透してきてはいるが、振り返りの機会を設けることを今後の課題としている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており、自治会の清掃活動に利用者様、職員で参加している。また地域の夏祭りに参加したり、近くの保育園との交流も行っている。また事業所の消防訓練にも地域の方にも参加して頂いている	地域とは、地域行事や清掃活動を通じて日常的に交流があり、今年の夏に地域と合同の夏祭りを開催する予定がある。また、保育園、小学校との交流もあり管理者は地域とより一層繋がりをもちたいと思案している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人にて年2回地域交流や地域活性化、介護の知るきっかけ作りとしてこおりDEマーケットを開催している。また、どら介護を語ろう会という勉強会を開催し、介護、福祉を知るきっかけの場を作り地域に発信している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の自治会長、民生委員、行政、ご家族代表、地域住民の方に参加して頂き、活動の報告や、参加者の意見の交換の場となっている。	家族代表は、各ユニットごとに交代で参加しているが、都合により参加がない時もあるため家族が参加しやすい日程調整が必要だと管理者は考えている。会議では、テーマごとに勉強会を実施し、地域の方や家族が知識を研鑽する場になっている。2月は、調理教室を開催している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市の担当部署に行った際に相談や手続きなどを行い、顔の見える関係作りを行っている。また市主催の勉強会に参加するなどし、市の担当部署や地域の同業種の方との連携を深めている。</p>	<p>地域包括と連携し、認知症の家族の会の相談を受けたり、月2回認知症カフェを開催、また、認知症サポーター養成研修の講師依頼に協力するなど協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束については、会社全体の介護基礎勉強会の計画にもあり、職員も勉強会に参加し、職員全員で身体拘束は行わない方針でケアに取り組んでいる。</p>	<p>年1回、研修会を開き身体拘束の弊害や廃止に向けた研修を実施、朝礼で具体的な事例を挙げてディスカッションし情報を共有するよう取り組んでいる。ふいに外出される方もおられるが、さりげなく寄り添い本人本位に対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待については、会社全体の介護基礎勉強会の計画にもあり、職員も参加し、全職員が正しく理解し、知識を持つように努めている。また日々のケアの中で利用者様の精神状態、身体的な阻害になるような事がないか検討している</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会や勉強会に参加し、学習に努めている。日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用されている方もおられる為、その都度、権利擁護に関する制度について学習している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、重要事項説明等は詳細に説明を行い、利用者様、ご家族様の納得が得られた上で、契約を結んでいる。また、入所されてからも、利用者様、ご家族様の要望や、改善等で必要と思われる時には、随時、文章等にて説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族様の意見や要望については、運営推進会議やたより等で報告し、改善に向け話し合いを行っている。また、ご家族様とも連絡を密にとり、信頼関係を築き、何でも言い合える関係性を目指し、ご意見や要望等ないか確認している。	入居時に、「思いやりシート」を活用し、利用者の思いや希望など聞き取り記録に残したり、家族向けにアンケート調査を実施し、サービスに繋げたりして質の向上を図っている。職員は、利用者や家族が意見や要望を出しやすい雰囲気や関係作りに努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼等で職員からの意見や安全等を話しやすい環境を作るよう努めている。また状況に応じては、個人面談を行い、意見や要望、また仕事をする中でのストレスや悩み等を出しやすい、雰囲気や環境等を作るよう努めている。	人事考課システムがあり、6ヶ月1回個人面談し、職員は自己評価を実施している。また、伝達シートを活用し、職員間の情報を共有し意見や提案は、朝礼時に意見交換している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は定期的に事業所に訪問し、職員の努力や能力、勤務状態の把握に努めている。また、事業所の管理者からも職員の状況など随時報告している。また、スキルアップの為に研修の参加の機会を提供したり、給料等の配慮も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>様々な研修会の案内や参加を促したりしている。また、法人の介護基礎勉強会も定期的に行い、参加したり、勉強会の主催なども積極的に行っている。資格の案内等も行い、チャレンジする機会を提供している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設の見学や、当事業所への他施設研修の受け入れなどを行い、サービスの向上に努めている。また、どら介護を語ろう会などの勉強会を開催し、他同業種の方々との交流の場にもなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始前に、家庭や病院を訪問し、本人やご家族と面会して、生活状況や、身体状況の把握、不安な事や要望等を聞き、早い段階で信頼関係が築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困っている事や不安な事、今後の生活の要望等に耳を傾け、その不安な事等に少しでも寄り添う事ができるよう努めている。また思い、確認シートを作成し、ご家族の思いを記入して頂き、ケアに反映させている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、本人やご家族の状態を聞いたうえで、他のサービスの紹介なども行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔ながらの習慣や習わし、農作業の仕方や、料理の味付け、ご利用者様が得意な事などを聞いたり、教えて頂いたりしている。その方の得意な事を見極め、一緒に出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等への参加のご案内や、面会時に日常生活の様子をお伝えしたり、ご本人さんの要望等をお伝えするなど、利用者様やご家族がいつまでも良い関係が保てるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも面会ができる体制を整えている。また要望があった場合電話をかけたりにしている。また、イベント等で外出し、地域の方や、顔なじみの方との交流の場がいつまでも持てるよう努めている。	定期的な外泊をされる方や通院がたらドライブしたり、墓参りに行くなど、本人の希望を大切にしていきつけの場所や人との関係性が途切れることがないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係性を把握し、職員は情報共有に努めている。その情報を基に、食堂の席順や入浴の順番を決めたり、職員が利用者様の間に入り、話題の提供やコミュニケーションが円滑に行えるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居先や家族への詳しい情報提供を行うとともに、入院先にお見舞いに行くなど、またご家族の相談などにこたえるなど、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、本人の思い、考え、希望を聞きケアに繋げている。また、思い・確認シートを活用し、本人、家族の意向を記入して頂き確認している。	「確認・思いやりシート」を活用し、利用者や家族の思いを把握し、課題分析し職員全員で共有して本人本位のケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段の会話の中から、ご本人と話をし把握したり、入居時や面会時にご家族より話を聞いたりして情報を得るとともに、情報共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の生活の中で本人の出来る事、出来ない事を把握し、情報共有に努め、一人ひとりの生活のリズムを尊重し支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	情報共有シートや気づきシート、思い確認シートを活用し介護計画等に反映させている。また、医療機関の主治医や看護師からも意見を頂き反映させるようにしている。	本人らしい暮らしの実現を目標とした現状に合った介護計画書を作成しており、利用者、家族に説明の上、短期目標期間に応じて評価している。また、評価結果を踏まえ計画の見直しについても柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を用意し、日勤者、夜勤者が日々の様子を記録している。また、情報共有シートを活用しながら情報を共有し、日々のケアに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族などの状況や要望に応じて病院受診や自宅訪問等必要な支援を柔軟に対応している。また、近隣の医療機関と医療連携を結んでおり、看護師による健康管理等も行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事業所が自治会に入っており、自治会の公園を利用したり、地域との交流で近隣の保育園の夏祭りや運動会の参加、自治会夏祭りの参加など自治会の行事にも参加している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保しており、基本的には職員が同行、日々の状態を伝えている。またその際主治医の先生や看護師からアドバイスを頂いたり、相談をしている。	外来受診は、原則家族に依頼しているが、職員が同行したり代行することもある。医療連携体制があり、隔週、看護師の訪問がある。また、必要に応じて歯科受診や皮膚科などの他科受診にも応じ早めの受診支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態で何かある場合は看護師職員に相談したり、主治医や協力医療機関、医療連携の看護師に相談し、アドバイスを頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した際は適切な情報提供をするとともに、こまめな面会を行っている。面会をする事で利用者、ご家族の不安解消に努め、本人、ご家族の希望を聞きながら、病院との連携を図っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時や状態変化時にご家族に現状の説明を行い、全職員での支援をおこなっている。	「看取りに関する指針」があり、終末期ケアの精神面確認書や利用者、家族に対する支援を別途資料にて説明の上、本人や家族が納得いく最期が迎えられるよう支援している。昨年4月看取りを経験しているが、職員に対するグリーフケアについても研修などをおこなっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に一度消防署に要請し、救急講習を受けている。また法人での介護基礎勉強会でも勉強している。普段より協力医療機関の看護師に相談、指導等もしてもらっている。また平成26年からAEDも設置、地域住民にも周知している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に通報訓練や避難訓練を行い、非常時に円滑に避難できるよう努めている。また訓練等は地域住民の協力もあり、訓練にも参加して頂いている。また、今年度は地震を想定した避難訓練も実施した。</p>	<p>自治会長や地域の方の協力体制があり、自主訓練時に自治会の方々に参加してもらっている。昨年も、地震想定訓練を実施し、自家発電対策については発電機の購入を検討中である。自動通報は、民生委員にも連絡がいくよう設定されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に応じた声掛けやプライド、プライバシーを尊重した声掛けや対応に配慮するよう心掛け、支援している。また、場面場面で職員には指導、教育しながらケアにあたっている。	プライバシーについては、日々のケアの中でその都度気を配り不適切な言葉使いをしないよう互いに注意している。また、朝礼時研修をするなど職員教育を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	レクリエーションの参加や入浴の有無、食事形態や好き嫌いなど日常生活の中で利用者の希望や意見交換を表せる雰囲気作りを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事の時間、入浴など利用者さんのペースに合わせて柔軟に対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしさを大切にし、好みの服を着て頂くよう、声かけを行い、配慮をしている。また髪型なども本人の希望に添えるよう、訪問散髪時に伝えるなど配慮をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	いつまでも美味しい食事を頂いてもらう事を大事にしている。最近是一緒に調理する事は少なくなったが、一緒にバーベキュー大会やそうめん流し大会を行っている。また調理の勉強会なども開催している。	食器洗いや食材の下ごしらえなどを能力に応じた手伝いをされる方がいる。食事介助の方がおられるが、食事形態を工夫し食べやすくし、食事が楽しめるよう支援している。また、手作りのおやつや行事食の提供、家族と外食を楽しまれている方がいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人一人の一日の大まかな食事、水分摂取を把握している。また以前栄養士がたてた献立を基に職員が作成し提供している。その方の状態に応じてとろみを使用したり、切り方を工夫したりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きや義歯洗浄の声かけ、必要に応じての見守り介助等行っている。また義歯チェック表にてチェックしている。また必要に応じて歯科受診や往診にて対応して頂くなど歯科医院とも連携をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成し、排泄パターンの把握に努めている。そのパターンに合わせて声掛けや誘導し、少しでもトイレで排泄できるよう支援している。	布下着の方もおられるが、排泄チェック表で排泄リズムを把握し、なるべくトイレで排泄ができるよう支援している。また、不潔行為や夜間おむつ使用の方もおられるため、更衣、清拭、入浴などの清潔支援をおこない、排泄の自立支援をおこなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や運動、腹部のマッサージで自然に排便が出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様にとって入浴は楽しみの一つでもある為、楽しい雰囲気で行っている。基本の入浴日は決めているが、希望があれば入れるよう柔軟に対応している。	入浴は、コミュニケーションの場でもあり、その方に合った入浴方法を検討し、気持ちよく入浴してもらっている。同性介助に配慮している方もあり、必要に応じて夜間の入浴支援も実施している。パウチ交換などは、プライバシーに十分に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日光浴やレクリエーション、体操など日中の活動を通して、生活リズムを作れるよう努めている。また休息したい時には、自由に休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人一人の薬の情報シート（薬情）を保管し、用法や副作用等について把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	農作業や家事などその方の生活歴を把握し、様々な経験や得意な事など活かしていけるよう支援を行っている。また季節ごとの行事を行ったり、外出する機会を作れるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は日光浴や散歩、苑外レクに出かけたり、希望に応じて病院受診の帰りなどに買いものに出かけたりしている。また、本人の思いをご家族にお伝えして、お墓参りに一緒に行くなどご家族にも協力をお願いしている。	レクリエーション委員会が中心になり、ドライブに行ったり家族に協力してもらいながら外出支援をおこなっている。毎年、法人主催のフリーマーケットは、本人の希望を聞いて多くの方が参加され地域の方と交流している。散歩や日光浴は、日課となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の能力や希望に応じて、ご家族と相談しながら本人に管理して頂いている。本人の希望で近くの商店に職員と一緒に買い物に行ったり、ご家族との買い物の機会をお願いするなど支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者本人より希望に応じてご家族に電話したり、はがきや手紙の支援も出来る限り行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールは天井が高く開放感もあり、自然な明るい光が差し込んでいる。季節ごとのお花や、飾り物など見て季節を感じれるように、掲示物にも配慮している。</p>	<p>吹き抜けの天井で採光があり、対面式キッチンから料理の匂いや音が刺激してくれる。両ユニットは事務スペースで繋がり容易に往来ができる。また、共有スペースには、季節の生花が飾られ壁にはちぎり絵や折り紙、書初めなどが掲示してある。ソファが配置されテレビ鑑賞しながら思い思いに過ごしている。畳スペースは、会議に活用されるなど地域との交流の場に活用されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールや玄関などソファが置かれ、また中庭にもベンチがある。また談話室などの畳の部屋を使用し、一人でも過ごせる空間となっている。また、他利用者などとも様々な空間で過ごせるようになっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	出来る限り、入居時に思い出の品や写真などを持ってきていただくようお願いしている。また、ご家族が面会時に撮った写真などを居室に飾るなどしている。	家族写真や位牌、寝具などの馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごしている。転倒予防のためのコルクマットや手作りのセンサーマット、加湿対策の濡れタオルなど居室環境を整備し、健康面や安全面に配慮している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	施設内には必要な所に手すりを設置し、バリアフリーとなっている。また居室内のベッドやダンス、クローゼットなどは利用者、ご家族から希望がある場合は配置を変えるなど柔軟に対応している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない